



わんにゃん新聞



文責：古賀



皆さん、こんにちは！
 梅雨も明けて熱さ厳しく夏本番になりましたね。
 今年も夏バテにならない様にご気を付けて下さい。
 前回では熱さ対策をお伝えいたしました。
 今回は、熱中症になったらどうなるのか、
 症状と応急処置をお伝えします。

ホントに怖い熱中症

7月後半に入って2頭のわんちゃんが熱中症になりました。

今年の夏は去年より暑さ厳しいようなので、ペットも飼い主さんも気を付けましょう!!

熱中症になったらどうなるの？

食欲低下、元気もなくなります。

耳や股の間など触ってみて下さい。いつもより熱くないですか？

体温が高すぎて電子体温計では計れなくなるくらいまで上がることもあります。

苦しそうにあえぐような激しい呼吸をして、大量のよだれがでます。

嘔吐・下痢などの症状が出て、多くの臓器が障害を起こす場合もあります。

倒れて泡をふいたり、ケイレンを起こし、意識がなくなったり、

舌が紫色になり、チアノーゼを起こす場合があります。

最悪、死に至ります。

もし熱中症になってしまったら？

病院に運ぶ間でもできることがあります。

冷水を体にかけてとにかく冷やすことです。

あとは、股の間、ワキ、首のあたりに保冷剤（アイスノンなど）を置いてください。



たとえ体調が悪くなくてもギリギリまで我慢してしまう犬・猫もいます。

飼い主さんが異変に気付いた時には手遅れということもあります。

ハアハアして暑そうだな、と思っていたらいきなり倒れ込んでそのまま…ということもあります。

夏場、うずくまってぐったりしていたり、

元気に遊んでいたのにいきなり倒れてしまったような時には、

熱中症を疑った方が良いでしょう。

『最近元気なくて調子悪そうだけど、この暑さのせいかな？もう少し様子を見よう』
という事はせず、**早めにご来院ください。**

大きな音が嫌い!!

梅雨も終わり、すっかり夏になりましたね。

夏といえばお祭り!!お祭りといえば花火大会!!

人間たちは楽しみのひとつですが、

人間の何倍もの聴力のあるわんちゃんやねこちゃんは大きな音が苦手です。

花火もそうですが、雷も大嫌い!!って犬猫も沢山いると思います。

もちろん、平気な犬猫もいます。

先月、『経験したことのない大雨』で雷が沢山なりましたね。

雷が原因でパニックになり、お家から脱走して帰れない犬が沢山いました。

また、パニックではなく、息づかいが荒くなる・よだれを大量にたらす・

体の震えが止まらない・家中をウロウロして落ちつかない・お漏らしをする・

嘔吐する・水や食べ物を一切受けつけない・逃走・破壊行動、など様々あります。



普段、脱走癖がありよく脱走して帰って来れる犬猫でも、

パニックになって家を飛び出してしまっただけではどうやってここまで来たのか、

ここがどこなのか分からなくなって帰れないこともあります。

万が一のことも考えて戸締りはもちろん、迷子札や狂犬病の済票をつけてあげてください。

雷が鳴りそうな日や、近所で花火大会がある日などはよく様子を見てそばに居てあげましょう。

ANIMALトリビア: キバがある動物はツリがない。ツリがある動物はキバがない。

塚崎トレーナーのしつけのいろは

文積：塚崎

《第5回：散歩②》

- ①引っ張る犬の気持ち
- ②飼い主さんが主導権をとる方法
- ③道具などを使うときの注意点

前回は引っ張る犬の気持ちについて書きました。

今回は②の飼い主さんが主導権をとる方法についてです。

散歩のときに常に飼い主さんが前を歩くようにするためには、

犬が前に出て引っ張ったら飼い主さんが逆の方向に歩き出す
→また、犬が追い越して引っ張ったら自分はまた逆方向に歩き出す

を繰り返します。

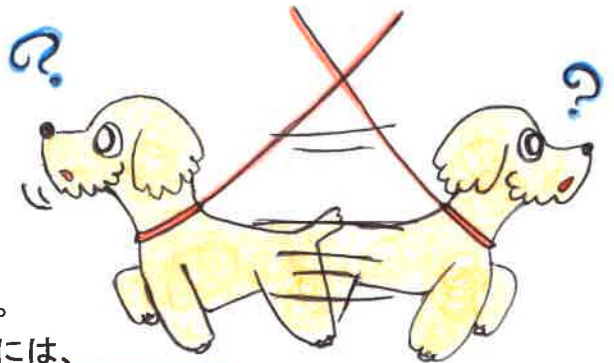
最初は同じ場所でぐるぐる回って散歩にはならないと思いますが根気よく続けてください。

そうすると、犬は自分の思いどおりには行けないということを理解するようになってきます。

そうなるまでには、とても時間がかかる場合があると思います。

ですが、中途半端にやったのでは意味がありません。

犬との根比べという強い気持ちをもって根気よくやりましょう。



③は次回へつづく...

西川動物病院 0940-43-0200